

相生市もつと活力上昇計画にかかる重要業績評価指標(KPI)の設定について

基本目標1:結婚・出産・子育ての希望をかなえ、充実した教育環境をつくる

施策	KPI項目	設定根拠	進捗把握値				設定値	(新)設定値
			H27	H28	H29	H30	R1 (H31)	R2
数値目標	合計特殊出生率	国のH32(2020年)の目標値を設定。	1.59	—	—	—	1.6	1.6
1. 出会いの場づくり	婚姻率	算出方法は年間の婚姻数/10月1日現在の人口×1,000 H26は3.97%であった。県では4.9、国では5.2となっており、いずれも下回っている。過去3年の相生市の婚姻率は、H24:4.18、H25:4.8、平均は4.32となる。以上のことより、ここ3年で一番高い率であったH25の数値を目指すこととし、4.8%とする。	3.87	4.03	3.45	3.19	4.8	4.8
2. 未来のパパママ応援	妊婦健康診査受診率	母子手帳を渡す際に健康診査の補助券も渡している。健康診査は基本的には全員が受診するものであり、飛び込みで受診した場合でも、償還払いとなる。	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合	総合計画アンケート結果より H20⇒15.5%、H24⇒28.0%、H26⇒37.3% 以上のように子育て応援都市宣言以降、着実に満足度は高くなっている。H31の目標としては、半数の50%を目標とする。	—	—	—	—	50%	50%
3. 現役のパパママ応援	安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合	上記と同様	—	—	—	—	50%	50%
	育児について気軽に相談できる人や場がある保護者の割合	H25実施のニーズ調査の結果は93.4%であり、かなり高い割合といえる。すべての育児をする人が気軽に相談できる環境を目指すため、100%で設定する。	—	—	—	89.6%	100%	100%
4. 世代をつなぐ子育て応援	地域子育て支援拠点の利用者数	総合計画にあわせる。H26の実績は21,075人	18,985人	17,994人	20,766人	22,014人	22,200人	22,200人
	ファミリーサポートセンターの登録数	ファミサポ会員は提供会員(109人)、依頼会員(433人)、両方会員(70人)で構成されているので、すべての会員総数を指標とする。H26の会員総数は612人。1年で10人ずつの増加と見込む。	631人	617人	624人	656人	660人	660人
5. 子どもをたくましく育てる教育支援	英語を好きと感じる児童の割合	小学校3、4年生を対象としたアンケート結果より。 H26の割合は66.7%であり、5年間で80%に到達することを目指す。	67.2%	72.5%	83.8%	86.2%	80%	80%

基本目標2:まちの魅力発信により、新しい人の流れをつくる

施策	KPI項目	設定根拠	進捗把握値				設定値	(新)設定値
			H27	H28	H29	H30	R1 (H31)	R2
数値目標	社会増減	将来の目標人口設定より算定。	92人	33人	-51人	-231人	0人	0人
1. あいおい暮らしサポート	移住相談件数	H26空き家バンク問い合わせ件数は10件(市内の人からの問い合わせは除く)毎年30件を目指す。	算定。J31:K32	32件	40件	14件	30件	30件
2. あいおいの資源を活かした住まいづくり	空き家の利活用件数	H26の実績は0件。1年2件ずつを見込む。	0件	1件	7件	3件	8件(累計)	10件(累計)
3. あいおいプロモーション	HP閲覧数	総合計画にあわせる。H26の実績は447,924件。	441,326件	446,525件	450,280件	432,854件	500,000件	500,000件

基本目標3: 地域資源を活用したしごとをつくる

施策	KPI項目		進捗把握値				設定値	(新) 設定値
			H27	H28	H29	H30	R1 (H31)	R2
数値目標	就業者数	H22国勢調査での15歳以上の人口は27,534人、就業率は48.1%であるので、就業者数は13,257人となる。人口ビジョンにおけるH31時点での15歳以上の推計人口は25,944人であり、H22県の就業率の51%を目標として算定する。	12,904人	—	—	—	13,500人	13,500人
1. 魅力あるしごとづくり	新規創業者数	H26の実績は0人。今後、創業支援計画をたて、年間2件ずつ増加を目標とする。	0人	6人	3人	2人	8人(累計)	10人(累計)
2. フレッシュマン就職サポートづくり	支援策を受けて就職した人数	H26の実績は0人。1年で10人ずつ増加を目指す。支援策を受けたものが姫路など市外へ就職した場合も、居住地が相生であれば、カウントするものとする。	—	0人	0人	0人	40人(累計)	50人(累計)
3. 農水産業の担い手育成と生産体制の確立	新規就農者数	H26の実績は1人。1年に1人ずつ増加を目標とする。	3人	4人	1人	2人	4人(累計)	5人(累計)
	6次産業化商品件数	H26の実績は10品。1年に1品ずつ増加を目標とする。	0品	3品	0品	2品	14品(累計)	15品(累計)
4. 観光産業づくり	市内宿泊施設の利用数	総合計画にあわせる。H26の実績は113,211人。	105,902人	102,515人	118,157人	117,903人	120,000人	120,000人
	観光客数	総合計画にあわせる。H26の実績は717,691人。	664,855人	638,048人	636,751人	615,600人	750,000人	750,000人

基本目標4: 将来にわたって安心して誇れるまちをつくる

施策	KPI項目		進捗把握値				設定値	(新) 設定値
			H27	H28	H29	H30	R1 (H31)	R2
数値目標	住み続けたいと思う人の割合	H27実施の定住・移住に関するアンケートより、住み続けたいと思う人の割合は34.5%であった。どちらかという住み続けたいと思う人の割合を足すと、62%となる。5年後は今回のアンケートで、どちらかという、と答えた人が住み続けたいとはっきりと思えることを目標とする。	34.5	—	41.3	42.7	65%	65%
1. 愛着あるふるさとづくり	寄附件数	H26の寄附数は48件。現状の寄附額500万円であり、一番寄附金額の多い10,000円の件数で見込み、500件とする。	55件	2,792件	2,433件	2,154件	500件	500件
2. 駅前及び市街地の活性化	商店街の新規出店舗数	H26の実績は2件。商店連合会やコスモス通りで1年で5件ずつ増加を目指す。	1件	2件	1件	1件	20件(累計)	25件(累計)
3. 時代に応じた土地利用	特別指定区域内の住宅新築件数	H26の実績は0件。1年に1件ずつの増加を目指す。	1件	0件	0件	0件	4件(累計)	5件(累計)
4. 広域連携の推進	連携事業数	全53の連携事業のうち、H26の実績は39事業である。全事業のうち、今後相生市が連携可能な事業は4事業と見込まれるため、4事業の増加を見込む。	39事業	39事業	39事業	39事業	43事業	43事業